

環境 ISO の現況

(平成 27 年度版)

(JIM443-1)
作成：EMS 事務局
2016 年 10 月作成

目次

<u>1 当組合のISO活動</u>	1
<u>2 基本理念・環境方針</u>	3
<u>3 エネルギーの使用及び環境負荷（平成27年度）</u>	4
<u>4 事業活動に関する環境配慮の取組状況（平成27年度）</u>	6
<u>5 目的・目標の達成状況（平成27年度）</u>	29
<u>6 その他</u>	31

1 当組合のISO活動

当組合は、平成12年から「ISO14001」活動に取り組み、本庁サイト（本庁管理棟・クリーンピア沢・ごみ中継場）では、平成13年7月に「ISO14001」を認証取得、電気使用量や灯油及びOA用紙使用量の削減等により、環境負荷の低減に大いに貢献することができました。平成22年7月からは、環境マネジメントシステムによる活動の有効性を高め、より成熟した環境システムを目指すこととし、既存の外部認証システムよりもさらに厳しい基準設定と自己責任に基づく行動により、さらなる効果を引き出す「適合自主宣言」へと移行しました。この「適合自主宣言」は、自らの責任のもとに行うため、自力による適合維持への信頼性が問われることとなりますが、確実な内部環境監査体制と外部審査体制の連携により、ISO14001規格に適合していることを自ら実証することでその信頼性を確保します。また、平成24年4月1日からは当組合の折居清掃工場、グリーンヒル三郷山、奥山リユースセンター^{※1}、クリーン21長谷山、エコ・ポート長谷山の5つの工場がISO14001適合自主宣言を行いました。

自分たちのシステムがISO14001規格に適合し、本当に使いやすいシステムになっているかという有効性を常に追求するとともに、当組合で行うすべての組織活動から生じる環境影響を減らすことができるよう、継続的改善に取り組んでいます。

適用サイト

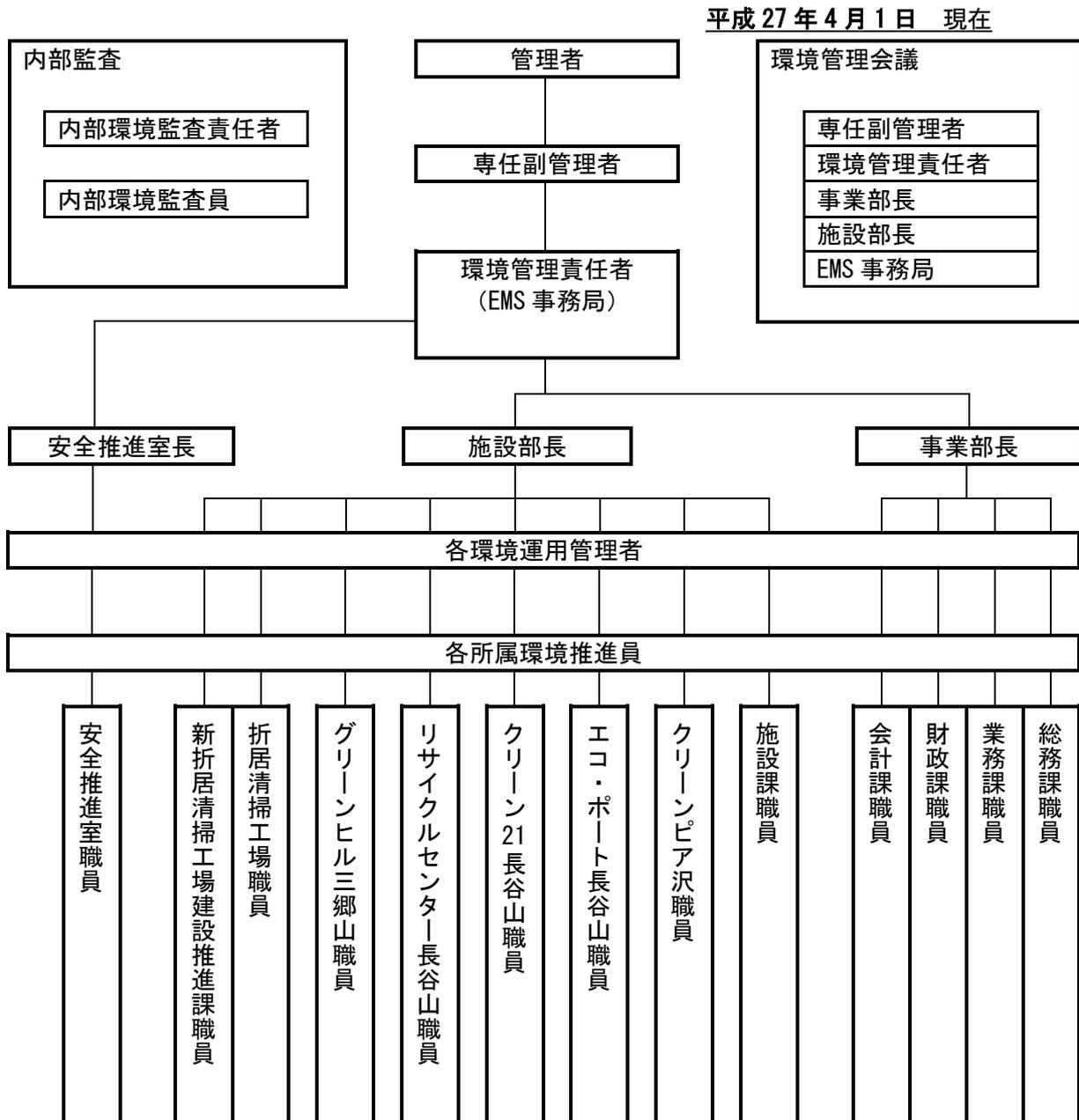
本庁サイト		クリーンピア沢サイト
安全推進室	業務課	クリーンピア沢
総務課	議会事務局	ごみ中継場サイト
財政課	施設課	施設課
会計課		
折居清掃工場サイト	クリーン21長谷山サイト	グリーンヒル三郷山サイト
折居清掃工場	クリーン21長谷山	グリーンヒル三郷山
新折居清掃工場建設推進課		
リサイクルセンター長谷山サイト	エコ・ポート長谷山サイト	
リサイクルセンター長谷山	エコ・ポート長谷山	

※1：平成27年4月より、リサイクルセンター長谷山（奥山リユースセンターは、平成27年3月末まで）

環境管理推進体制

環境管理推進体制は、環境マネジメントシステムを効果的に実施及び運用するため、管理者、専任副管理者、事業部長、施設部長、環境管理責任者(EMS事務局)及び環境管理会議で構成します。

また、実行部門にあつては、各部長、各環境運用管理者とこれを補佐する各環境推進員で構成します。



※ごみ中継場サイトにかかる推進は、施設課の担当とする。

※議会事務局は総務課に含む。

2 基本理念・環境方針

○基本理念

城南衛生管理組合は、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町及び井手町の3市3町で構成する特別地方公共団体（一部事務組合）として、管内住民の日常生活から排出されるごみやし尿の処理・処分、埋め立て処分及び資源ごみのリサイクル事業等を行っています。

当組合では平成25年度の不祥事に続き、平成26年度においても基準値を超過するダイオキシン類を含んだばいじん処理物の不適切な処理が行われていたことが判明し、管内住民の皆様からの信頼を再び損なう結果となりました。

こうした中、当組合としましては、今後これらの不祥事を二度と起こさないために、再発防止対策を確実に実行するとともに、現在取り組んでいる法令順守の徹底に向けた職員への教育・指導により、職員の意識改革を徹底し、日々搬入されるごみやし尿を法令等に基づき適切に処分することで、当組合に託された管内住民の皆様からの信頼を回復することを目的として、以下の環境方針を定めます。

○環境方針

1 城南衛生管理組合は、基本理念に基づき「環境関連法規制」はもとより、自主基準や外部の利害関係者からの要望を含む「組合が同意したその他の要求事項」を順守し、汚染の予防を第1に、住民にとって信頼できる生活環境保全を図るとともに、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

これを達成するため、職員に対する教育・訓練等の機会を充実させるとともに、環境方針の周知徹底、環境関連法規制の順守の徹底に努めるほか、地球環境保全啓発活動の充実を図ります。

また、資源の有効利用、廃棄物の抑制と再資源化、大気・水質汚染物質の削減を進めるとともに、施設の改善によるより高度な処理をめざします。

具体的取組みとして次の事項を掲げます。

- (1) 環境関連法規制及び当組合が定めた自主基準の順守の徹底に向け、職員の教育、指導及び監査の機会を充実させます。
- (2) 環境影響の発生を未然に防止するため必要となる工場運営の技術、知識の確実な継承に向けたOJT活動を充実させます。
- (3) 高度な処理水質の維持及び臭気対策や、ダイオキシン類削減をはじめとする大気汚染防止を徹底します。
- (4) 適正な設備管理及び運転管理を徹底し、廃棄物を適正に処理します。
- (5) 温室効果ガスの削減を目的に、再生可能エネルギーの有効利用を進めます。
- (6) 電気、灯油、地下水、OA用紙等の資源・エネルギーの削減及び有効利用と、廃棄物抑制を基本とする3Rの取組みを進めます。
- (7) ISOの精神を十分に踏まえ、グリーン購入や壁面緑化、エコドライブなど、環境改善に寄与する活動を積極的に推進します。
- (8) 剪定樹木のリサイクルに努めます。

- (9) 環境マネジメントシステムを日常業務に応用し、活用します。
- 2 城南衛生管理組合が保有する環境に関する情報は、積極的に組合内外に公表します。また環境方針は、広報紙「エコネット城南」やホームページ「城南衛生管理組合」等を活用し、何人にも公開します。
- 3 「地球温暖化対策実行計画 地球元気プランⅢ」を推進し、温室効果ガスの削減に努めます。
- 4 ISO14001適合サイトは、本庁、クリーンピア沢、ごみ中継場、折居清掃工場、リサイクルセンター長谷山、グリーンヒル三郷山、クリーン21長谷山、エコ・ポート長谷山とします。

3 エネルギーの使用及び環境負荷（平成27年度）

(1) エネルギー使用状況

電気・灯油・軽油・ガソリン・液化石油ガス

活動項目	年度	H26年度	H27年度	対前年度比	
		2014	2015	(増減)	%
電気 (kWh)		3,341,268.00	131,556.00	-3,209,712.00	-96.06%
電気使用 (kWh)		11,421,978.00	11,842,613.00	420,635.00	3.68%
売電 (kWh)		-8,080,710.00	-11,711,057.00	-3,630,347.00	44.93%
灯油 (ℓ)		594,901.00	571,757.00	-23,144.00	-3.89%
軽油 (ℓ)		65,751.24	50,010.00	-15,741.24	-23.94%
ガソリン (ℓ)		7,640.67	6,975.78	-664.89	-8.70%
液化石油ガス (kg)		3,042.80	704.20	-2,338.60	-76.86%

(2) 環境負荷の現状

温室効果ガス排出量は、各施設における電気（使用・売電）量、燃料使用量、一般廃棄物処理量などを基に、各温室効果ガスの地球温暖化係数を乗じて排出量を算定しています。

(単位：t-CO₂)

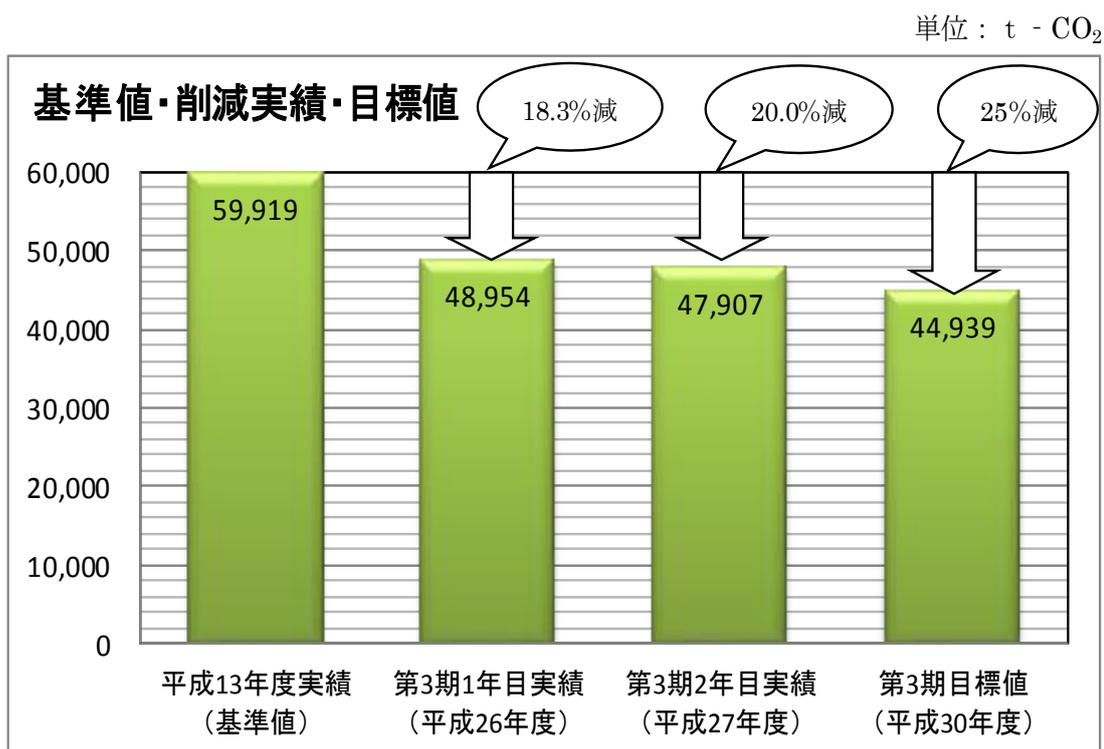
活動項目	年度	H26年度	H27年度	対前年度比	
		2014	2015	(増減)	%
電気		1,717	68	-1,649	-96.04%
電気使用		5,871	6,087	216	3.68%
売電		-4,154	-6,019	-1,865	44.90%
燃料		1,678	1,571	-107	-6.38%
灯油		1,481	1,424	-57	-3.85%
軽油		170	129	-41	-24.12%
ガソリン		18	16	-2	-11.11%
液化石油ガス		9	2	-7	-77.78%
一般廃棄物		45,558	46,265	707	1.55%
焼却・埋立		1,834	1,804	-30	-1.64%
廃プラスチック焼却		43,724	44,461	737	1.69%
その他		1	3	2	200.00%
合計		48,954	47,907	-1,047	-2.14%

温室効果ガス項目別排出量における平成26年度との比較について、主な増減では、廃プラスチック焼却について737 t-CO₂の増加となりましたが、電気使用については1,649 t-CO₂の削減となり、クリーン21長谷山における発電量の増加等がCO₂の削減に大きく貢献しました。また、燃料においては、ガソリン、灯油、軽油、液化石油ガス（LPG）全てにおいて減少し、合計107 t-CO₂削減する等、継続的な温室効果ガス削減の取組が成果となって反映されています。

（3）城南衛生管理組合地球温暖化対策実行計画について

当組合では、行政機関として率先して地球温暖化防止の対策を進めるため、平成16年6月より地球温暖化対策実行計画書「地球元気プラン」に基づく温室効果ガス削減の取組を行っており、以降5年ごとに見直し、現在は平成26年度に策定した地球元気プランⅢ（基準年度を平成13年度とし、平成30年度において温室効果ガス排出量25%削減を目標）により取組を推進しています。

地球元気プランⅢの2年目となる平成27年度の実績は、基準年度と比べて20%の削減となり、また、平成26年度と比べて2.1%の削減となりました。



4 事業活動に関する環境配慮の取組状況（平成27年度）

当組合の事業活動に関する環境関連法規制を特定し順守しています。また各サイトが独自に定める自主基準及び地域協定も、法規制と同等に扱っています。

○事業活動に関する主な法規制

基本事項	騒音振動悪臭
環境基本法	騒音規制法
グリーン購入法	振動規制法
地球環境	悪臭防止法
地球温暖化対策推進法	化学物質
省エネルギー法	ダイオキシン対策法
フロン排出抑制法	P R T R 法
大気保全	その他
大気汚染防止法	環境アセスメント法
水質保全	公害健康被害補償法
水質汚濁防止法	労働安全衛生法
瀬戸内海環境保全法	消防法
浄化槽法	京都府条例
廃棄物・リサイクル	京都府環境を守り育てる条例
循環型社会基本法	京都府温暖化対策条例
廃棄物処理法	構成市町条例
P C B 廃棄物特別措置法	公害防止協定
容器包装リサイクル法	

(1) 監視・測定

各施設では、環境に影響を与える側面（物質）を特定し、監視・測定しています。

ア) ダイオキシン類

平成27年度 ダイオキシン類測定結果一覧表

	調査工場・地点		ダイオキシン類濃度	基準値等
排ガス	折居清掃工場	1号焼却炉	0.015ng-TEQ/m ³ N	1ng-TEQ/m ³ N
		2号焼却炉	0.0037ng-TEQ/m ³ N	
	クリーン21長谷山	1号焼却炉	0.00000042ng-TEQ/m ³ N	0.1ng-TEQ/m ³ N
		2号焼却炉	0.00098ng-TEQ/m ³ N	
	クリーンピア沢	小動物焼却炉	0.039ng-TEQ/m ³ N	10ng-TEQ/m ³ N
	クリーンピア沢	汚泥焼却炉	0.018ng-TEQ/m ³ N	
ばいじん (飛灰)	折居清掃工場	熱分解装置出口	0.022ng-TEQ/g	酸抽出により適用除外
	クリーン21長谷山	キレート処理装置出口	0.25ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
焼却灰等	折居清掃工場	1号焼却炉	0.0023ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
		2号焼却炉	0.0092ng-TEQ/g	
	クリーン21長谷山	1号焼却炉	0.0065ng-TEQ/g	
		2号焼却炉	0.0017ng-TEQ/g	
	クリーンピア沢	小動物焼却炉	0.000042ng-TEQ/g	
	クリーンピア沢	汚泥焼却炉	0.0014ng-TEQ/g	
排水	奥山排水処理施設	原水	4.5pg-TEQ/L	—
		処理水	0.00052pg-TEQ/L	0.1pg-TEQ/L
	グリーンヒル三郷山（処理水）		0.00035pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
	クリーンピア沢（処理水）		0.000063pg-TEQ/L	
	クリーン21長谷山（処理水）		0pg-TEQ/L	0.1pg-TEQ/L
特定事業場出口（処理水） ※クリーン21長谷山処理水及び奥山排水処理施設処理水の合流出口		0.00028pg-TEQ/L	（自主規制基準値）	
周辺土壌	宇治市		0.026pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g
			1.7pg-TEQ/g	
	城陽市		0.18pg-TEQ/g	
	宇治田原町		0.065pg-TEQ/g	
焼却場 用地内	折居清掃工場		5.4pg-TEQ/g	
	クリーン21長谷山		34pg-TEQ/g	
※クリーンピア沢のばいじんは焼却炉に循環する構造であるため調査対象外				

平成27年度クリーン21長谷山 焼却灰・ばいじん処理物ダイオキシン類濃度測定結果

1号炉焼却灰

採取日	計量証明発行日	ダイオキシン類濃度測定結果	基準値
平成27年6月5日	平成27年6月23日	0.0033ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
平成27年7月8日	平成27年7月30日	0.0065ng-TEQ/g	
平成27年10月15日	平成27年11月9日	0.0060ng-TEQ/g	
平成28年1月14日	平成28年2月5日	0.017ng-TEQ/g	

2号炉焼却灰

採取日	計量証明発行日	ダイオキシン類濃度測定結果	基準値
平成27年4月27日	平成27年5月19日	0.013ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
平成27年5月19日	平成27年5月29日	0.0049ng-TEQ/g	
平成27年6月5日	平成27年6月23日	0.0098ng-TEQ/g	
平成27年7月8日	平成27年7月30日	0.0017ng-TEQ/g	
平成27年10月15日	平成27年11月9日	0.0064ng-TEQ/g	
平成28年1月14日	平成28年2月5日	0.0040ng-TEQ/g	

ばいじん処理物

採取日	計量証明発行日	ダイオキシン類濃度測定結果	基準値
平成27年4月27日	平成27年5月19日	0.48ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
平成27年5月19日	平成27年5月29日	0.64ng-TEQ/g	
平成27年6月5日	平成27年6月23日	0.47ng-TEQ/g	
平成27年7月8日	平成27年7月30日	0.25ng-TEQ/g	
平成27年10月15日	平成27年11月9日	0.41ng-TEQ/g	
平成28年1月14日	平成28年2月5日	0.82ng-TEQ/g	

平成27年度折居清掃工場 ばいじん処理物ダイオキシン類濃度測定結果

ばいじん処理物

採取日	計量証明発行日	ダイオキシン類濃度測定結果	基準値
平成27年4月27日	平成27年5月19日	0.00051ng-TEQ/g	酸抽出により適用除外
平成27年7月3日	平成27年8月4日	0.000081ng-TEQ/g	
平成27年10月15日	平成27年11月9日	0.000083ng-TEQ/g	
平成28年1月28日	平成28年2月18日	0.0017ng-TEQ/g	

イ) 排ガス

平成27年度クリーンピア沢 排ガス測定結果一覧表
汚泥乾燥焼却設備

測定日	項目	単位	法規制値	測定値
平成27年6月8日	ばいじん	g/m ³ N	0.25	0.005 未満
	硫黄酸化物(排出量)	m ³ N/h	1.93	0.2264
	硫黄酸化物(K値)	-	2.34	0.2636
	窒素酸化物	volppm	250	70
	塩化水素	mg/m ³ N	700	2.3
測定日	項目	単位	法規制値	測定値
平成27年12月10日	ばいじん	g/m ³ N	0.25	0.007
	硫黄酸化物(排出量)	m ³ N/h	1.93	0.1251
	硫黄酸化物(K値)	-	2.34	0.1530
	窒素酸化物	volppm	250	74
	塩化水素	mg/m ³ N	700	1.7

平成27年度折居清掃工場 排ガス測定結果一覧表

1号炉

採取日	検査結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度		塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算		12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm		mg/m ³ N	volppm
						湿ベース	乾ベース		
平成27年 6月12日	6月26日	<0.005	<0.13	<0.0033	<0.00067	44	56	<1.0	<1.0
平成27年 7月9日	8月3日	<0.005	1.34	0.0332	0.00669	31	41	1.3	<1.0
平成27年 10月9日	10月26日	<0.005	<0.25	<0.0067	<0.00134	43	54	1.0	<1.0
平成27年 11月17日	12月3日	<0.005	<0.13	<0.0032	<0.00065	61	75	<1.0	<1.0
平成28年 2月9日	2月22日	<0.005	<0.12	<0.0033	<0.00065	71	87	1.2	<1.0
平均		0.005	0.39	0.0099	0.002	50	63	1.1	1.0
規制値		≤0.08		≤1.60	≤2.34		≤250	≤700	≤430
管理値		≤0.02	≤19			≤100			≤19

2号炉

採取日	検査結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度		塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算		12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm		mg/m ³ N	volppm
						湿ベース	乾ベース		
平成27年 4月20日	4月28日	<0.005	<0.26	<0.0066	<0.00135	40	49	1.7	1.0
平成27年 5月12日	5月28日	<0.005	<0.32	<0.0086	<0.00172	56	70	1.4	<1.0
平成27年 8月11日	8月26日	<0.005	<0.33	<0.0084	<0.00171	48	61	2.4	1.5
平成27年 9月11日	9月30日	<0.005	<0.26	<0.0063	<0.00130	43	54	2.3	1.5
平成27年 12月8日	12月24日	<0.005	<0.48	<0.0133	<0.00265	43	51	1.2	<1.0
平成28年 1月12日	1月20日	<0.005	<0.36	<0.0098	<0.00195	60	72	4.4	2.8
平均		0.005	0.34	0.0088	0.00178	48	60	2.2	1.5
規制値		≤0.08		≤1.60	≤2.34		≤250	≤700	≤430
管理値		≤0.02	≤19			≤100			≤19

平成27年度クリーン21長谷山 排ガス測定結果一覧表

1号炉

採取日	検査 結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算	12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm	mg/m ³ N	volppm
平成27年 6月2日	6月26日	<0.005	1.95	0.046	0.008	15	<1.0	<1.0
平成27年 7月9日	8月3日	<0.005	1.56	0.038	0.007	16	1.0	<1.0
平成27年 9月9日	9月25日	<0.005	1.14	0.024	0.005	17	<1.0	<1.0
平成27年 11月16日	12月3日	<0.005	<1.00	<0.023	<0.004	19	<1.0	<1.0
平成28年 1月12日	1月20日	<0.005	<0.80	<0.018	<0.003	28	1.4	<1.0
平成28年 3月30日	4月7日	<0.005	<0.68	<0.016	<0.003	14	<1.0	<1.0
平均		0.005	1.19	0.028	0.005	18	1.1	1.0
規制値		≦0.04		≦2.479	≦2.34	≦250	≦700	≦430
管理値		≦0.01	≦25			≦30	≦40	≦24.5

2号炉

採取日	検査 結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算	12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm	mg/m ³ N	volppm
平成27年 4月3日	4月27日	<0.005	1.59	0.036	0.007	14	1.1	<1.0
平成27年 6月2日	6月26日	<0.005	3.03	0.071	0.013	17	<1.0	<1.0
平成27年 8月27日	9月7日	<0.005	1.61	0.036	0.007	29	1.1	<1.0
平成27年 10月9日	10月26日	<0.005	1.02	0.021	0.004	29	1.6	<1.0
平成27年 12月7日	12月24日	<0.005	1.95	0.044	0.008	25	4.2	2.6
平成28年 2月3日	2月23日	<0.005	<0.25	<0.006	<0.001	10	<1.0	<1.0
平均		0.005	1.58	0.036	0.007	21	1.7	1.3
規制値		≦0.04		≦2.479	≦2.34	≦250	≦700	≦430
管理値		≦0.01	≦25			≦30	≦40	≦24.5

ウ) 排水

平成27年度 クリーンピア沢総合処理水分析結果

項目	単位	公害防止基準値	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
採水日			4月8日	5月13日	6月3日	7月1日	8月5日	9月2日	10月14日	11月4日	12月2日	1月13日	2月3日	3月2日
色度	度		<1	3	2	1	1	1	1	<1	1	<1	1	1
P H		5.8~8.6	6.3	6.5	6.8	7.0	7.1	6.6	6.9	7.0	6.8	6.8	7.0	6.9
浮遊物質	mg/L	70(日間平均)	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
B O D	mg/L	20(日間平均)	1.0	0.6	0.8	0.6	0.5	0.8	<0.5	<0.5	0.5	1.0	<0.5	1.0
C O D	mg/L	20	2.5	3.0	2.8	2.9	2.9	4.0	2.2	2.6	2.1	2.4	2.6	2.6
全リン	mg/L	2	0.07	0.01	0.01	0.05	0.07	0.02	<0.01	0.04	0.02	0.02	0.05	0.04
塩化物イオン	mg/L		80	66	82	81	88	70	77	140	76	91	59	66
大腸菌群数	個/cm ³	3,000個(日間平均)	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0
全窒素	mg/L	20	2.0	1.2	2.2	1.4	1.5	1.4	1.0	1.1	0.9	1.7	0.8	1.3

平成27年度 グリーンヒル三郷山排水処理施設 放流水

① 放流水の水質（月1回実施項目）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
項 目	採水日	H27.4.9	H27.5.7	H27.6.11	H27.7.9	H27.8.13	H27.9.10	H27.10.15	H27.11.12	H27.12.10	H28.1.14	H28.2.10	H28.3.10
	検査結果日 基準値	H27.4.20	H27.5.18	H27.6.19	H27.7.21	H27.8.24	H27.9.21	H27.10.26	H27.11.24	H27.12.22	H28.1.26	H28.2.24	H28.3.23
P H	5.8~8.6	7.3	7.8	8.1	7.9	7.9	8.2	8.1	8.1	7.9	8.0	7.9	7.7
B O D	≤60mg/l	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.9	0.6	<0.5	<0.5	0.8	<0.5	<0.5	<0.5
C O D	≤90mg/l	0.6	0.9	2.2	0.8	4.7	5.2	0.7	0.9	1.0	0.8	0.8	1.6
S S	≤60mg/l	<1	<1	<1	<1	<1	2	<1	<1	2	1	<1	<1
大腸菌群数	≤3,000個/ml	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全窒素	≤60mg/l	0.1	0.7	2.5	1.8	4.6	2.3	3.1	3.5	3.0	4.6	2.6	6.1
全リン	≤8mg/l	0.02	0.03	0.04	0.04	0.03	0.04	<0.01	0.07	0.03	0.04	0.03	0.06

※ 放流水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第一に基づくものです。

平成27年度 グリーンヒル三郷山排水処理施設 放流水

② 放流水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	測定値
ルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	mg/l	H27.5.7	H27.6.2	≤5	<1
ルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)	mg/l			≤30	<1
フェノール類含有量	mg/l			≤5	<0.01
銅含有量	mg/l			≤3	<0.05
亜鉛含有量	mg/l			≤2	<0.05
溶解性鉄含有量	mg/l			≤10	<0.05
溶解性マンガン含有量	mg/l			≤10	<0.05
クロム含有量	mg/l			≤2	<0.05
カドミウム及びその化合物	mg/l			≤0.1	<0.01
シアン化合物	mg/l			≤1	<0.1
有機燐化合物	mg/l			≤1	<0.1
鉛及びその化合物	mg/l			≤0.1	<0.01
六価クロム化合物	mg/l			≤0.5	<0.05
砒素及びその化合物	mg/l			≤0.1	<0.01
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/l			≤0.005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/l			検出されないこと	不検出
ポリ塩化ビフェニル	mg/l			≤0.003	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/l			≤0.3	<0.03
テトラクロロエチレン	mg/l			≤0.1	<0.01
ジクロロメタン	mg/l			≤0.2	<0.02
四塩化炭素	mg/l			≤0.02	<0.002
1・2-ジクロロエタン	mg/l			≤0.04	<0.004
1・1-ジクロロエチレン	mg/l			≤1	<0.02
シス-1・2-ジクロロエチレン	mg/l			≤0.4	<0.04
1・1・1-トリクロロエタン	mg/l			≤3	<0.3
1・1・2-トリクロロエタン	mg/l			≤0.06	<0.006
1・3-ジクロロプロペン	mg/l			≤0.02	<0.002
チウラム	mg/l			≤0.06	<0.006
シマジン	mg/l			≤0.03	<0.003
チオベンカルブ	mg/l			≤0.2	<0.02
ベンゼン	mg/l			≤0.1	<0.01
セレン及びその化合物	mg/l			≤0.1	<0.01
1・4-ジオキサン	mg/l			≤10	<0.005
ほう素及びその化合物	mg/l	≤50	1		
ふっ素及びその化合物	mg/l	≤15	<0.8		
アンモニア・アンモニウム化合物	mg/l	≤200	0.7		
亜硝酸化合物及び硝酸化合物					
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	≤10	-		
PCDDS+PCDFS	pg-TEQ/l				
コプラナPCB	pg-TEQ/l				

※ 放流水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第一に基づくものです。

※ ダイオキシン類の基準値につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則別表第二に基づくものです。

※ 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示すものです。

平成27年度 グリーンヒル三郷山埋立処分地周縁地下水

① 地下水の水質（月1回実施項目）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採水日		H27.4.9	H27.5.7	H27.6.11	H27.7.9	H27.8.13	H27.9.10 H27.9.17	H27.10.15	H27.11.12	H27.12.10	H28.1.14	H28.2.10	H28.3.10
検査結果日		H27.4.20	H27.5.18	H27.6.19	H27.7.21	H27.8.24	H27.9.21	H27.10.26	H27.11.24	H27.12.22	H28.1.26	H28.2.24	H28.3.23
塩化物イオン (mg/l)	NO. 1	8.0	13	14	7.4	8.8	6.7	6.7	7.1	14	8.9	7.2	16
	NO. 2	7.7	7.6	8.2	7.5	7.0	6.4	7.8	7.7	12	12	8.7	9.7

※ 地下水の測定につきましては、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、第一条第二項第十号ハに基づき、塩化物イオンを測定しています。

※ グリーンヒル三郷山については、地下排水をNo.1、モニタリング井戸をNo.2とする。

※ 参考基準 … 飲料水基準では200mg/l以下

※ 9月度 No.1地下排水管 採水日 9月17日 No.2モニタリング井戸 採水日9月10日

平成27年度 グリーンヒル三郷山埋立処分地周縁地下水

② 地下水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	No.1	No.2
カドミウム	mg/l	H27.5.7	H27.6.2	≦0.01	<0.001	<0.001
全シアン	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
鉛	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
六価クロム	mg/l			≦0.05	<0.005	<0.005
砒素	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
総水銀	mg/l			≦0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/l			≦0.03	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	mg/l			≦0.02	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/l			≦0.002	<0.0002	<0.0002
1・2-ジクロロエタン	mg/l			≦0.004	<0.0004	<0.0004
1・1-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.1	<0.01	<0.01
1・2-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.04	<0.004	<0.004
1・1・1-トリクロロエタン	mg/l			≦1	<0.1	<0.1
1・1・2-トリクロロエタン	mg/l			≦0.006	<0.0006	<0.0006
1・3-ジクロロプロペン	mg/l			≦0.002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l			≦0.006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l			≦0.003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l			≦0.02	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
セレン	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
1・4-ジオキサン	mg/l	≦0.05	<0.005	<0.005		
塩化ビニルモノマー	mg/l	≦0.002	<0.0002	<0.0002		
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	7月1日 7月7日	12月14日	≦1.00	0.050	0.045
PCDDs + PCDFs	pg-TEQ/l			—	0.046	0.041
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.0039	0.0039

※ 地下水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第二に基づくものです。

※ ダイオキシン類の基準値につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準値であります。

※ グリーンヒル三郷山については、地下排水をNo.1、モニタリング井戸をNo.2とする。

※ 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示すものです。

※ ダイオキシン類測定 No.2(モニタリング)サンプリング井戸 採水日7月1日。No.1(地下排水)700p 地下水 採水日7月7日。

平成27年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(4月～9月)

① - 1 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定月						測定頻度
			4	5	6	7	8	9	
水素イオン濃度(pH)	—	5.8～8.6	7.5	8.2	8.2	8.1	8.1	8.3	月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.5	月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	5.3	5.0	4.7	4.8	1.8	4.1	週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10	1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類含有量)	mg/l	≦24	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1	0.08	<0.05	0.08	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1	0	0	0	0	0	0	月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)	0.5	0.6	0.7	1.4	0.1	0.7	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)	0.01	0.02	0.05	0.02	0.02	0.01	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	月1回
<p>【備考】 COD、T-N、T-Pについては、最大値を示す。 採水箇所は処理水槽</p>									

平成27年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(10月～3月)

① - 2 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定月						測定頻度
			10	11	12	1	2	3	
水素イオン濃度(pH)	—	5.8～8.6	8.2	8.1	8.1	8.2	8.0	7.9	月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)	0.6	0.7	0.9	<0.5	<0.5	1.0	月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	7.1	5.6	7.1	6.0	2.6	13	週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10	<1	<1	<1	<1	1	7	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類含有量)	mg/l	≦24	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1	0	0	0	0	0	0	月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)	0.9	0.6	1.0	0.6	0.7	1.3	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)	<0.01	0.02	0.03	0.01	0.01	0.07	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	月1回
<p>【備考】 COD、T-N、T-Pについては、最大値を示す。 採水箇所は処理水槽</p>									

平成27年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】

②放流水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	測定結果
アルキル水銀化合物	mg/l	H27.5.14	H27.5.28	検出されないこと	不検出
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/l			≦0.0025	<0.0005
カドミウム及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
鉛及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
有機燐化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNIに限る。）	mg/l			≦0.5	<0.1
六価クロム化合物	mg/l			≦0.25	<0.05
砒素及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
シアン化合物	mg/l			≦0.5	<0.1
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/l			≦0.0015	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/l			≦0.15	<0.03
テトラクロロエチレン	mg/l			≦0.05	<0.01
ジクロロメタン	mg/l			≦0.1	<0.02
四塩化炭素	mg/l			≦0.01	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/l			≦0.02	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.1	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.2	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l			≦1.5	<0.3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l			≦0.03	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/l			≦0.01	<0.002
チウラム	mg/l			≦0.03	<0.006
シマジン	mg/l			≦0.015	<0.003
チオベンカルブ	mg/l			≦0.1	<0.02
ベンゼン	mg/l			≦0.05	<0.01
セレン及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
ホウ素及びその化合物	mg/l			≦5	1
フッ素及びその化合物	mg/l			≦4	<0.8
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/l	≦50	0.3		
1,4-ジオキサン	mg/l	≦0.5	<0.005		
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	H28.3.1	H28.3.15	≦0.1	0.00052
PCDDS + PCDFS	pg-TEQ/l			—	0
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.000516

【備考】

平成27年度 奥山埋立処分地周縁地下水

①地下水の水質（月1回実施項目）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採水日		H27.4.9	H27.5.14	H27.6.11	H27.7.9	H27.8.13	H27.9.10	H27.10.8	H27.11.12	H27.12.10	H28.1.14	H28.2.10	H28.3.10
検査結果日		H27.4.23	H27.5.27	H27.6.22	H27.7.21	H27.8.24	H27.9.18	H27.10.20	H27.11.24	H27.12.24	H28.1.27	H28.2.26	H28.3.23
塩化物イオン (mg/l)	NO. 7	13	12	13	11	9.7	9.5	13	12	12	11	7.6	7.7
	NO. 5	13	14	21	11	12	15	12	12	13	14	11	11

※ 地下水の測定につきましては、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、第一条第二項第十号ハに基づき、塩化物イオンを測定しています。

※ 参考基準 … 飲料水基準では200mg/l以下

平成27年度 奥山埋立処分地周縁地下水

②地下水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	No.7	No.5
カドミウム	mg/l	H27.5.14	H27.5.27	≤0.01	<0.001	<0.001
全シアン	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
鉛	mg/l			≤0.01	<0.001	<0.001
六価クロム	mg/l			≤0.05	<0.005	<0.005
砒素	mg/l			≤0.01	<0.001	<0.001
総水銀	mg/l			≤0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/l			≤0.03	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン	mg/l			≤0.01	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	mg/l			≤0.02	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/l			≤0.002	<0.0002	<0.0002
1・2-ジクロロエタン	mg/l			≤0.004	<0.0004	<0.0004
1・1-ジクロロエチレン	mg/l			≤0.1	<0.01	<0.01
1・2-ジクロロエチレン	mg/l			≤0.04	<0.004	<0.004
1・1・1-トリクロロエタン	mg/l			≤1.0	<0.1	<0.1
1・1・2-トリクロロエタン	mg/l			≤0.006	<0.0006	<0.0006
1・3-ジクロロプロペン	mg/l			≤0.002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l			≤0.006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l			≤0.003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l	≤0.02	<0.002	<0.002		
ベンゼン	mg/l	≤0.01	<0.001	<0.001		
セレン	mg/l	≤0.01	<0.001	<0.001		
1・4-ジオキサン	mg/l	≤0.05	<0.005	<0.005		
塩化ビニルモノマー	mg/l	≤0.002	<0.0002	<0.0002		
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	H27.7.1	H27.12.14	≤1.0	0.10	0.049
PCDDs + PCDFs	pg-TEQ/l			—	0.075	0.041
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.030	0.0080

※ 地下水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第二に基づくものです。

※ ダイオキシン類の基準値につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準値であります。

※ 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示すものです。

平成27年度 クリーン21長谷山放流水水質検査結果（4月～9月）

項目	単位	基準値	測定月						測定頻度
			4	5	6	7	8	9	
水素イオン濃度(pH)	—	5.8～8.6	6.9	6.3	6.9	6.5	7.8	7.2	月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8	<0.5	0.7	<0.5	0.5	1.1	<0.5	月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20	3.6	3.3	4.0	3.6	0.9	<0.5	放流7日毎 若しくは月1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10	1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2	0.05	0.06	0.07	0.06	<0.05	<0.05	月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9	0.23	0.24	0.33	0.39	<0.05	<0.05	月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1	0	0	0	0	0	0	月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8	2.5	2.0	2.8	2.7	3.1	3.0	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5	<0.01	0.02	0.02	0.02	<0.01	0.03	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6	0.07	0.21	0.30	0.34	0.03	0.05	月1回
【備考】									

平成27年度 クリーン21長谷山放流水水質検査結果（10月～3月）

項目	単位	基準値	測定月						測定頻度	
			10	11	12	1	2	3		
水素イオン濃度(pH)	—	5.8～8.6	6.7	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.0	月1回
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8	1.2	<0.5	1.7	0.9	<0.5	<0.5	<0.5	月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20	3.9	1.9	2.6	2.7	3.0	3.9	3.9	放流7日毎 若しくは月1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.05	月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	0.10	0.10	月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1	0	0	0	0	0	0	0	月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8	5.2	5.5	5.2	3.8	4.7	5.9	5.9	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5	0.01	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6	<0.01	2.4	0.66	0.09	0.03	0.03	0.03	月1回
【備考】										
COD、ニッケルについては、最大値を示します。										
※ 11月のニッケルの濃度が維持管理基準値(1.6mg/L)を超過しておりますが、処理水を場外へ排出していないため、環境への負荷はありません。										

(2) 有害物質・危険物の管理

有害物質の保有

ポリ塩化ビフェニル廃棄物 (平成28年3月末現在)

開閉器	1台
安定器・蛍光灯安定器	180個
高圧トランス	3台
リアクトル	2台
低圧コンデンサ	2台
誘導電圧調整器	1台
複合汚染物 (ウエス・非金属系汚染物・その他)	約1L
複合汚染物 (ウエス・非金属系汚染物)	約0.2L

廃PCBとして、管理要領を定めて、厳重に保管しています。

サイト	要領書
クリーンピア沢	EMP10-S-12 廃PCB管理要領

毒物及び劇物取締法で指定されている薬品、燃料等の危険物についても、管理要領を定めて厳重に管理しています。

(3) 緊急事態の特定・訓練

各サイトでは、環境に影響を与える可能性のある潜在的な緊急事態及び事故を特定するとともに、その対応についての緊急事態特定・対応要領を作成しています。また緊急事態の対応は、緊急事態や事故が生じないように、前もって注意することを含め、発生確率を減らすことを目指します。特定した緊急事態について定期的にテストし、その有効性を確認し、維持するとともに、テストの結果について緊急事態訓練記録を残しています。

緊急事態特定・対応表		
サイト	緊急事態特定	緊急事態要領書
本庁	緊急事態対応管理項目なし	
クリーンピア沢	地下灯油タンク火災	EMP11-01-S-2 地下灯油タンク火災対応要領
	工場火災	EMP11-01-S-3 工場火災対応要領
	汚水漏出	EMP11-01-S-4 汚水等漏出対応要領
	薬品漏洩	EMP11-01-S-6 緊急事態薬品漏洩対応要領
	設備故障	EMP11-01-S-22 設備故障対応要領
ごみ中継場	火災	EMP11-11-01G16 火災による緊急事態対応要領
	交通事故・車両故障	EMP11-11-01G17 交通事故・車両故障による緊急対応の管理要領
	爆発	EMP11-11-01G18 爆発による緊急事態対応要領
	危険物漏洩	EMP11-11-01G19 危険物漏洩(油漏れ等)による緊急事態対応要領
折居清掃工場	薬品漏洩	EMP447-OSK-1 薬品漏洩防止要領
	ピット火災	EMP447-OSK-2 ピット火災緊急事態要領
	入れ間違いによる有毒ガスの発生	EMP447-OSK-3 薬品納入時における入れ間違いによる緊急事態要領
	落雷停電	EMP447-OSK-4 焼却炉運転中の落雷停電におけ

		る要領書
	排ガスの漏洩	EMP447-OSK-5 排ガス漏洩緊急事態要領
	排ガスの漏洩	EMP447-OSK-6 ガス洗浄塔バイパス緊急事態要領
	排ガス、ばいじんの漏洩	EMP447-OSK-7 バグフィルターバイパス緊急事態要領
	排ガス、ばいじんの漏洩	EMP447-OSK-8 バグフィルターろ布の破れ緊急事態要領
グリーンヒル三郷山	ゲリラ豪雨	EMP447-GHS-1 ゲリラ豪雨対策要領
	薬品漏洩	EMP447-GHS-2 薬品漏洩防止要領
	火災	EMP447-GHS-3 緊急事態火災対応要領
	薬品の入れ間違い等による有毒ガス発生	EMP447-GHS-6 薬品の入れ間違い等による有毒ガスの発生防止要領
リサイクルセンター長谷山	施設火災・爆発	EMP447-RCH-1 緊急事態施設（粗大ごみピット、プラスチック製容器包装ピット、各コンベア等）火災・爆発対応要領
	スプレー缶穴あけ作業 火災・爆発	EMP447-RCH-2 緊急事態スプレー缶穴あけ作業 火災・爆発対応要領
	少量危険物貯留所火災	EMP447-RCH-3 緊急事態少量危険物貯留所（軽油・灯油タンク）火災対応要領
	ストックヤード火災	EMP447-RCH-4 緊急事態ストックヤード（処理困難物コンテナ）火災対応要領
	小型消防ポンプ	EMP447-RCH-5 小型消防ポンプ消火活動要領
クリーン21長谷山	ピット火災	EMP447-C21-1 ピット火災緊急対応要領
	アンモニア漏洩	EMP447-C21-2 アンモニア漏洩時の対応
	排ガス異常時	EMP447-C21-3 排ガス異常時の対応
	薬品漏洩	EMP447-C21-4 奥山排水処理施設薬品漏洩防止要領
	有毒ガス発生	EMP447-C21-5 奥山排水処理施設薬品の入れ間違い等による有毒ガスの発生防止要領
エコ・ポート長谷山	危険物保管所火災	EMP447-EPH-1 危険物保管場所火災による緊急事態対応要領

緊急事態訓練

サイト	実施日	訓練内容
クリーンピア沢	H27. 6. 30	地下灯油タンク火災想定のもと初期消火訓練
	H28. 3. 31	搬入室投入口からの浄化槽汚泥漏出想定のもと拡散防止の初期活動訓練 薬品搬入車両の配管損傷による薬品漏出想定のもと拡散防止活動訓練 汚泥乾燥焼却設備の焼却バーナー付近からの火災想定のもと初期消火訓練
ごみ中継場	H27. 11. 17	本庁管理棟火災想定のもと消火訓練
	H28. 3. 24	コンテナ火災想定のもと消火訓練
折居清掃工場	H27. 10. 21	ごみピット内火災想定のもと初期消火訓練
グリーンヒル三郷山	H28. 2. 17	三郷山埋立処分地内から出火想定のもと初期消火訓練
リサイクルセンター長谷山	H28. 2. 26	プラスチック製容器包装軽量手選別コンベアより出火想定のもと消火訓練
	H28. 3. 23	スラグ等ストックヤードにて出火想定のもと消火訓練

クリーン21長谷山	H27.10.21	ごみピット内火災想定のもと初期消火訓練
	H28.3.22	ごみピット転落者の救出作業訓練
	H28.3.23	スラグ等ストックヤードにて出火想定のもと消化訓練
エコ・ポート長谷山	H27.12.3	工場棟1階袋類コンテナ付近にて火災発生想定のもと初期消火訓練
	H28.3.29	工場棟地下1階不適物貯留場付近にて火災想定のもと初期消火訓練

(4) 環境教育・訓練

サイト	実施日	研修内容
総務課	H27.5.12	推進員研修の内容周知・理解 OA用紙使用平成27年度目標設定
	H27.8.11	推進員研修の内容周知・理解
	H27.11.18	推進員研修の内容周知・理解 (OA用紙削減・冷暖房管理温度)
	H28.2.9	推進員研修の内容周知・理解 (第3四半期集計報告-OA用紙・可燃ごみ・不燃ごみ、「物品供給者及び受注者の皆さんへ」の配布管理、庁内排出ごみの分別方法変更)
財政課	H27.5.12	第1回推進員研修の内容伝達、周知
	H27.8.10	第2回推進員研修の内容伝達、周知
	H27.11.10	第3回推進員研修の内容伝達、周知
	H28.3.7	第4回推進員研修の内容伝達、周知
業務課	H27.5.27	環境方針の周知・理解
	H27.8.4	廃棄物分別管理削減要領の周知・理解
	H28.1.6	有益な環境側面の抽出
	H28.3.7	ごみの分別方法の変更
会計課	H27.6.10	災害共済関連研修
	H27.9.24	災害共済関連研修
	H28.2.25	コンプライアンス研修
	H28.3.28	コンプライアンス研修
EMS事務局	H27.4.1	新規採用職員研修 (ISO活動の取組)
	H27.5.18	
	H27.4.2	新規採用職員研修 (環境法令)
	H27.5.20	
	H27.4.28	第1回環境推進員研修 (環境推進員の職務、目的目標及び監視測定の結果報告・ウォームビズ集約・その他)
	H27.5.18	水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法研修
	H27.5.19	
	H27.6.18	新任運転等担当職員研修 (安全について、作業姿勢の改善、安全に使用するために)
	H27.7.6	ISO14001に係る研修
	H27.7.8	
H27.7.16	新任運転等担当職員研修 (保守点検とその意義、保守点検の種類と方法、設備における保守点検の概要)	
H27.7.31	第2回環境推進員研修 (環境推進員の職務・目的目標及び監視測定の結果報告・コンポスト報告・その他)	
H27.8.4	ISO14001 内部監査員養成研修	

	H27. 8. 5	
	H27. 8. 8	ISO14001 審査員研修コース
	H27. 8. 20 H27. 8. 21	ダイオキシン類対策特別措置法研修
	H27. 8. 27	新任運転等担当職員研修(折居清掃工場とクリーン 21 長谷山の相違点)
	H27. 8. 31	平成 27 年度内部監査員スキルアップ研修
	H27. 9. 11	施設運営に係る研修(廃棄物処理施設における安定操業の確保と技術管理者の責務)
	H27. 9. 17	新任運転等担当職員研修(廃水処理の基礎知識)
	H27. 10. 15	新任運転等担当職員研修(ごみと燃焼について、ごみの燃焼)
	H27. 10. 30	第 3 回環境推進員研修(環境推進員の職務・目的目標及び監視測定の結果・順守評価管理システム・その他)
	H27. 11. 19	新任運転等担当職員研修(計装、計装計器番号、計器のループ)
	H27. 12. 17	新任運転等担当職員研修(制御概論、スイッチ、センサー)
	H28. 1. 19 H28. 1. 20	循環社会とリサイクル制度研修
	H28. 1. 21	新任運転等担当職員研修(シーケンス制御、信号、図の表し方)
	H28. 1. 29	第 4 回環境推進員研修(環境推進員の職務、目的目標及び監視測定の結果・廃プラスチック類の取扱い及び廃棄物管理表等改訂・その他)
	H28. 2. 18	新任運転担当職員フォローアップ研修(自動制御装置)
	H28. 2. 23	地球温暖化防止研修
クリーンピア沢	H27. 4. 28	①電気・灯油使用量(3月分) ②水質検査結果(3月分) ③DO・水温調査結果(3月分) ④日常管理要領の見直し(水処理管理要領・中央監視要領) ⑤平成 27 年度環境教育・訓練計画
	H27. 6. 29	①電気・灯油使用量(4、5月分) ②水質検査結果(4、5月分) ③DO・水温調査結果(4、5月分) ④日常管理要領の見直し(緊急時連絡要領・次亜塩素酸ソーダ注入要領・悪臭防止管理要領・電力消費節減要領)
	H27. 7. 30	①電気・灯油使用量(6月分) ②水質検査結果(6月分) ③DO・水温調査結果(6月分) ④日常管理要領の見直し(乾燥焼却設備運転管理要領・汚泥脱水設備運転管理要領)
	H27. 10. 7	①電気・灯油使用量(7、8、9月分) ②水質検査結果(7、8、9月分) ③DO・水温調査結果(7、8、9月分) ④日常管理要領の見直し(廃棄物管理要領・焼却灰適正管理要領・危険物倉庫適正管理要領・廃 PCB 管理要領・危険物タンク適正管理要領・オゾン漏洩防止要領)

	H28. 1. 7	① 電気・灯油使用量 (10、11、12 月分) ②水質検査結果 (10、11、12 月分) ③DO・水温調査結果 (10、11、12 月分) ④日常管理要領の見直し (冷媒ガス漏洩要領・オイル等流出防止要領・水質試験薬品等管理要領・測定機器管理要領、薬品等受入管理要領)
	H28. 3. 11	①電気・灯油使用量 (1、2 月分) ②水質検査結果 (1、2 月分) ③DO・水温調査結果 (1、2 月分) ④日常管理要領の見直し (停電対応要領・設備故障対応要領)
施設課・ごみ中継場	H27. 6. 22	平成 27 年度環境方針 冷暖房機器の適正管理 夏至ライトダウン及びクールアースデーライトダウン
	H27. 9. 7	廃蛍光灯管適正管理要領 内部監査日程等 不適合／是正措置記録の事例紹介
	H28. 3. 3	廃棄物処理法に基づく基本方針の変更 不適合／是正措置記録の事例紹介 フロン排出抑制法
	H28. 3. 8	エコドライブ
	H28. 3. 15	廃棄物管理の変更 環境マネジメントプログラムの進行状況 紙・ごみ・電気の状況 エコドライブ
折居清掃工場	H27. 5. 7	要領書周知 (工場運転における排ガス適正管理要領・ダイオキシン類の発生削減要領)
	H27. 5. 21 H27. 5. 25 H27. 5. 26	事故対応マニュアル改訂版周知研修
	H27. 6. 4	要領書周知 (設備電気の使用量削減要領・焼却灰の適正管理要領)
	H27. 6. 16～ 18	(停電) 災害時における作業手順
	H27. 7. 3	要領書周知 (用水使用量削減要領・灯油・プロパンガス使用量削減要領)
	H27. 8. 10	要領書周知 (潤滑油適正使用要領・廃油の適正処理管理要領)
	H27. 8. 11～ 13	事故対応マニュアル (事例) 研修 (排ガス管理基準値超過)
	H27. 9. 2	要領書周知 (ごみ収集車搬入時における排気ガス削減要領・薬品漏洩防止要領)
	H27. 10. 5	要領書周知 (ごみ収集車搬入時における臭気発生防止要領・ピット火災緊急事態要領)
	H27. 11. 11	要領書周知 (薬品納入時における入れ間違いによる緊急事態要領・焼却炉運転中の落雷停電における要領)
H27. 12. 2	要領書周知 (公用車におけるガソリン使用削減要領・排ガス漏洩緊急事態要領)	

	H28. 1. 13	要領書周知（ガス洗浄塔バイパス緊急事態要領・バグフィルターバイパス緊急事態要領）
	H28. 2. 2	要領書周知（バグフィルターろ布の破れ緊急事態要領）
グリーンヒル三郷山	H27. 5. 10	要領書周知（薬品の入れ間違い等による有毒ガスの発生防止要領）
	H27. 6. 5	要領書周知（冷暖房機器等適正管理要領）
	H27. 8. 4	要領書周知（電気使用量削減要領）
	H27. 9. 29	要領書周知（公用車における軽油使用量削減要領）
	H27. 11. 17	要領書周知（公用車におけるガソリン使用量削減要領・水処理点検要領）
	H28. 1. 12	要領書周知（排水処理施設中央監視要領）
	H28. 2. 17	要領書周知（緊急事態火災対応要領）
	H28. 3. 25	要領書周知（薬品漏洩防止要領）
リサイクルセンター 長谷山	H27. 4. 19	平成 27 年度環境マネジメントプログラム確認
クリーン 2 1 長谷山	H27. 4. 16	エコ活動報告（電気、灯油） 要領書周知（冷暖房機器等適正管理要領）
	H27. 5. 20	エコ活動報告（電気、灯油）
	H27. 6. 16	エコ活動報告（電気、灯油）
	H27. 6. 29～ 30	停電時の対応方法
	H27. 7. 16	エコ活動報告（電気、灯油） 中央制御室設置の非常時対応手順
	H27. 8. 18	エコ活動報告（電気、灯油） ごみ処理施設維持管理に係る関係法令
	H27. 9. 17	エコ活動報告（電気、灯油）
	H27. 10. 16	エコ活動報告（電気、灯油） 内部環境監査実施結果
	H27. 11. 18	エコ活動報告（電気、灯油） 外部審査受審結果
	H27. 12. 15	エコ活動報告（電気、灯油） クールビズ取組結果
	H27. 12. 24 ～25 H27. 12. 28	共通系制御通信機器の故障対応マニュアル
	H28. 1. 21 H28. 2. 17	エコ活動報告（電気、灯油） ごみピット転落時の行動手順
	H28. 3. 18	エコ活動報告（電気、灯油） 平成 28 年度環境マネジメントプログラム ごみピット転落者の救出作業
エコ・ポート長谷山	H27. 5. 11	要領書周知（電力消費削減要領）
	H27. 6. 8 ～ 9	要領書周知（廃油適正管理要領）
	H27. 7. 7 H27. 7. 10	要領書周知（軽油適正管理要領・給油作業管理要領）
	H27. 8. 13	要領書周知（作動油適正管理要領）
	H27. 9. 7 H27. 9. 11	要領書周知（灯油適正管理要領） 廃棄物管理表

	H27. 10. 8～ 9	要領書周知（サービスタンク室適正管理要領）
	H27. 11. 12 H27. 11. 13	要領書周知（LP ガス適正管理要領）
	H27. 12. 8 H27. 12. 11	要領書周知（重機・車両の燃料使用量削減要領）
	H28. 1. 15 H28. 1. 18	要領書周知（過積載防止適正管理要領 A）
	H28. 2. 8 H28. 2. 12	要領書周知（過積載防止適正管理要領 B）
	H28. 3. 10 ～11	要領書周知（過積載防止適正管理要領 C）

5 目的・目標の達成状況（平成27年度）

各サイトでは目的・目標の結果について集約し、未達成の場合は是正内容を検討し、改善しています。

環境目的	環境目標	適用サイト	達成程度
環境保全及びコンプライアンス意識を持った職員の養成	職員の意識向上のための研修を適宜実施する	安全推進室	（目標）適宜実施 （実績）14件 （達成状況）○：適宜実施
公害防止基準の遵守	排水を基準値以下とする	クリーンピア沢 グリーンヒル 三郷山 クリーン21 長谷山	（達成状況）○ （達成状況）○ （達成状況）○
	排ガスを基準値以下とする	クリーンピア沢 折居清掃工場 クリーン 21 長谷山	（達成状況）○ （達成状況）× NOx 運転管理 基準値超過 2 回 （達成状況）○
省エネルギー・省資源の推進	電気使用量を平成25年度の実績（2,255,509 kWh）以下とする	クリーンピア沢	（目標）2,255,509 kWh 以下 （実績）2,229,338 kWh （達成状況）○：26,171kWh 減
	焼却設備の灯油使用量を平成25年度実績（313,687ℓ）以下とする	クリーンピア沢	（目標）313,687ℓ以下 （実績）240,686ℓ （達成状況）○：73,001ℓ減
	中継車（4台）の燃費を平成26年度実績に対して維持・向上する	ごみ中継場	（目標）2.616km/ℓ （実績）2.684km/ℓ （達成状況）○：0.07 km/ℓ増
	OA用紙の使用量を全体総量で1,383枚以下とする	EMS事務局	※サイト全体 （目標）1,383枚以下 （実績）1,404枚 （達成状況）×：21枚増

環境目的	環境目標	適用サイト	達成程度
省エネルギー・省資源の推進	可燃ごみ 967.1kg(平成 25 年実績) 以下とする 不燃ごみ 501.9 kg(平成 26 年実績) 以下とする	EMS 事務局	※サイト全体 (目標) 可燃ごみ 967.1kg 以下 不燃ごみ 501.9kg 以下 (実績) 可燃ごみ 1095.6kg 不燃ごみ 403.5kg (達成状況) 可燃ごみ × : 128.5kg 増 不燃ごみ ○ : 98.4kg 減
	電気使用量を 215,169 kWh 以下とする	グリーンヒル 三郷山	(目標) 215,169 kWh 以下 (実績) 234,383kWh (達成状況) × : 19,214 kWh 増
	4t ダンプ・バキューム車における軽油使用量を 4,800 l 以下とする	グリーンヒル 三郷山	(目標) 4,800l 以下 (実績) 1,566l (達成状況) ○ : 3,234l 減
	公用車におけるガソリン使用量を 1,557l 以下とする	グリーンヒル 三郷山	(目標) 1,557l 以下 (実績) 835.02l (達成状況) ○ : 721.98l 減
	灯油使用量を前年度使用量 (253,651l) 以下とする	クリーン 21 長谷山	(目標) 253,651l 以下 (実績) 304,331.3l (達成状況) × : 50,680.3l 増
	電気使用量を平成 27 年度予算ベースより削減する	クリーン 21 長谷山	(目標) 11,071,266 kWh 以下 (実績) 9,784,378.9 kWh (達成状況) ○ : 1,286,887.1 kWh 減
	施設の電気使用量を平成 24 年度電気使用量から 1% 削減した実績 (225,324kWh) 以下とする	エコ・ポート 長谷山	(目標) 225,324 kWh 以下 (実績) 225,400 kWh (達成状況) × : 76 kWh 増
	施設の軽油使用量を平成 24 年度の軽油使用量実績 (3,750.1l) 以下とする	エコ・ポート 長谷山	(目標) 3,750.1l 以下 (実績) 3,926l (達成状況) × : 175.9l 増
	上水の使用量を平成 26 年度使用量 (2,362.3 m ³) 以下とする	リサイクルセンター長谷山	(目標) 2,362.3 m ³ 以下 (実績) 3,091 m ³ (達成状況) × : 728.7 m ³ 増
	電気の使用量を平成 27 年度予算使用量 (1,138,165 kWh) 以下とする	リサイクルセンター長谷山	(目標) 1,138,165kWh 以下 (実績) 910,140kWh (達成状況) ○ : 228,025kWh 減
	ガソリン使用量を平成 24 年度実績 (808.77l) 以下とする	折居清掃工場	(目標) 808.77 l 以下 (実績) 907.09 l (達成状況) × : 98.32 l 増
ごみ処理量 1 トン当たりの用水使用量を平成 26 年度実績 (0.82 m ³) 以下とする	折居清掃工場	(目標) 0.82 m ³ /t 以下 (実績) 0.93 m ³ /t (達成状況) × : 0.11 m ³ /t 減	

環境目的	環境目標	適用サイト	達成程度
	ごみ処理量1トン当たりの設備電気使用量を平成26年度実績（170.34 kWh）以下とする	折居清掃工場	（目標）170.34 kWh/t 以下 （実績）179.95kWh/t （達成状況）×：9.61 kWh/t 増
環境問題に関する内部組織の充実	代表環境運用管理者実施の所属別研修を年4回以上行う	本庁管理棟	（目標）4回以上 （実績）4回 （達成状況）○
剪定樹木のライフサイクルの拡大	剪定枝チップ化物を無料配布とし、1年間に1,245 m ³ 配布する	施設課	（目標）1,245 m ³ 以上 （実績）1,935 m ³ （達成状況）○：690 m ³ 増

6 その他

グリーン購入

グリーン購入推進要領を策定し、平成14年4月1日から実施しています。環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指しています。

平成27年度における特定調達物品（重点的に調達を推進すべき環境物品等）の調達実績は、全94品目のうち、全く購入がなかった品目（23品目）を除く71品目中、52品目（73.2%）において、特定調達物品等の調達率95%以上を達成することができました。

年度	H27
① 特定調達品目数	71
② 調達率95%以上の品目数	52
②／①割合	73.2%